

住宅街の菜園にはコレだ!!

家庭菜園用の耕うん機、いろいろある中でどれを選ぶか迷いますね。住宅地の中にある菜園にぴったりのパワフルな電気式をご紹介します。

**藤田智先生に
試してもらいました!**

家庭菜園の第一人者・藤田智先生は「菜園づくりの基本は土を耕すこと。今からの作業で大切な耕し作業に、最近では家庭菜園用の耕うん機がいろいろ出ていますね。僕もいくつかのタイプを使ってみましたが、それぞれに特長があり菜園の場所や規模によって適材適所があるようです。その中で、従来の電気式については、パワーがもうひとつ足りないな」と感じていま



リョービ独自の高性能モーターを搭載し、50mlエンジン並みのパワーでラクに耕うんできます。

した。そこで、今回新発売されたリョービの電気式耕うん機は、パワーがエンジン式並みと聞いて、ホントかな?と半信半疑で試してみました。場所は住宅街の道路に面した前庭の菜園。いざ、始動させてみると、なるほどパワーがすごい! エンジン式並みの力があり、刃は曲げ加工を施した強度のあるナタ爪で固い土も一瞬にしてかみ砕くようにホクホク

に耕します。これは、これまでの電気式耕うん機のイメージを完全に変えましたね」と、電気式の強力パワーにまず驚きの声!

空気を汚さないのだから近隣にも気兼ねなく!

あつという間に、菜園全

「やっぱり土を耕すって気持ちいいね。ラクだからおもしろくて楽しくてやめられないよ! さすが電動工具・園芸機器のトップクラス企業リョービの開発力がみごとに実った耕うん機。パワー、扱いやすさ、クリーンな環境など、家庭菜園農具としてパランスのとれたおススメです」と藤田先生も絶賛!

体をスイスイと耕してしまった藤田先生。「これだけのパワーがあれば、住宅街の中にある家庭菜園には特におすすめのもので、電気式はエンジン式のように排ガスが出ないから、クリーンな環境で作業でき、すし、音も思ったより低くて近隣に気兼ねなく耕うんできます。更にうれしいことには、機械としての扱いがとて

もカンタンですね。始動は「耕うんトリガ」を握るだけ。放すと止まるし、「低速トリガ」にするとスピードが落ちて方向転換やゆっくり進む時にぴったり。機械に抵抗のある方にも、扱いがいたって簡単です。燃料補給の手間もかからずメンテナンスも電気式が一番ラクですね。これなら、家事の合間にちよつと庭に

RYOBI

販売元 リョービ販売株式会社

〒468-8512
名古屋市中白区久方 1-145-1
TEL.052-806-5111
FAX.052-806-5141
専用サ介URL
<http://www.ryobi-group.co.jp/projects/power/tools/acv/index.html>



電気カルチベータ
ACV-1500

- 最大耕うん幅 360mm
- 最大耕深 280mm
- 消費電力 1,400W
- 質量 18.5kg
- 本体寸法 長さ1,050(740)×幅480×高さ965(570)mm
- ※()内の数値はハンドル折りたたみ時

[付属品]

- 抵抗棒(車輪付き)
- 巻き込み防止ガード
- 延長コード(10m)×2本
- コードストラップ

動画で
見てみよう!



藤田智先生
恵泉女学園大学人間社会学部教授。家庭菜園指導の第一人者。NHK教育テレビ「趣味の園芸やさいの時間」出演や講演のかたわら、雑誌や著書も多数。

出で...といった主婦の方にも、家電製品のように気軽に使えるのではないのでしょうか。僕も1台欲しくなりました」と藤田先生も納得。家まわりで家庭菜園をして、いるあなた、ぜひお試しください。